

朝霞市ソフトボール協会沿革

－昭和５３(1978)年～昭和６３(1988)年の抜粋－

昭和 53 年 6 月 18 日	昭和 5 1～5 2 年に開催された朝霞市教育委員会主催「ソフトボール教室」の参加者により、「朝霞市ソフトボール愛好会」を設立する。加盟 3 チーム 朝霞市体育協会レクリエーション部に加盟する。
11 月	初めて県民体育大会 2 部、県生涯スポーツ中央大会に参加する。 第 1 回市民ソフトボール大会を開催する。男子 8・女子 3 チーム参加
54 年 4 月	第 3 種公認審判員認定会（志木市）で 5 名の審判員が誕生する。
4 月	5 4 年度総会 加盟 9 チーム
6 月	第 1 回春季トーナメント大会が始まる。11 チーム参加
11 月	第 24 回市民総合体育大会ソフトボール競技が始まる。17 チーム参加 このほか、県民体育大会、県生涯スポーツ中央大会市予選を開催する。
55 年 4 月	5 5 年度総会 加盟 14 チーム
9 月	第 1 回秋季トーナメント大会が始まる。14 チーム参加
11 月	朝霞地区四市ソフトボール大会が始まる。（志木市）3 チーム出場
56 年 4 月	5 6 年度総会 加盟 19 チーム
4 月	初めて第 3 種審判員認定会を開催する。（朝霞五中）33 名合格
5 月	第 3 回春季大会からブロックリーグ戦となる。16 チーム参加
5 月	初めて技術講習会を開催する。（朝霞四中）講師 鈴木 征、金子功両氏
6 月	親睦大会を開催（朝霞西高）16 チーム参加
57 年 4 月	5 7 年度総会 加盟 18 チーム 「朝霞市ソフトボール連盟」に改称する。 春季リーグ戦、秋季トーナメント大会、市民総合体育大会及び県民体育大会 2 部朝霞大会を開催する。
58 年 4 月	5 8 年度総会 加盟 25 チーム
6 月	第 1 回壮年ソフトトーナメント大会が始まる。10 チーム参加
7 月	青葉台グラウンドが使用開始になる。
59 年 4 月	5 9 年度総会 加盟 25 チーム
11 月	スローピッチ大会を開催する。6 チーム参加
12 月	第 1 回レクリエーション協会長杯女子トーナメントが始まる。 4 チーム参加

朝霞市ソフトボール協会沿革

60 年 3 月 4 月 10 月	60 年度総会 加盟 25 チーム この年審判部が発足する。 第 7 回春季大会からクラス別リーグ戦になる。25 チーム参加 朝霞地区四市ソフトボール大会を開催する。(青葉台グラウンドほか) 4 チーム出場
61 年 4 月	61 年度総会 加盟 28 チーム 春季リーグ戦、レクリエーション会長杯、秋季トーナメント大会、壮年ソフト、市民総合体育大会及び県民体育大会市予選を開催する。
62 年 2 月 11 月	62 年度総会 加盟 28 チーム 第 36 回全国青年大会女子の部(東京都)クラッシュビーズ 第 3 位入賞
63 年 3 月 7 月 11 月 昭和 63 年 12 月 4 日	63 年度総会 加盟 27 チーム 春季大会からソフトボール連盟(19 チーム)と球友会(8 チーム)に分かれる。 初めて記録講習会を開催する。(朝霞六小)講師 大芦 進氏 朝霞地区四市ソフトボール大会を開催する。(朝霞西高ほか) 4 チーム出場 ソフトボール連盟創立 10 周年記念式典を開催し、記念誌を発刊する。